

# KNグローバルリサーチレポート

2023年12月  
No.92



今年もあとひと月となりました。何かとお忙しくお過ごしのことと存じます。

## 【パブリック・コメント】

浜松市では、現在、以下8本の計画等について市民の皆様からの意見等を募集しています。市民の意見に対して市の考え方を公表するとともに、寄せられた意見を考慮して最終案を作ります。今後の各施策の方向性が確定し、その事務事業の推進のために予算化がなされます。

意見募集期間は12月14日(木)までです。

### ■生物多様性はままつ戦略2024(案) 環境政策課 期間:2024年~2033年(10年間)

- ・将来像:海から山まで 多様な生物と人々の暮らしが共存する都市~はままつから、“ネイチャーポジティブ”へ
- ・基本方針:①多様な生物のすみかの保全と回復、②生物多様性を守るしくみづくり、③生物多様性の恵みを将来につなぐ人づくり
- ・絶滅が危惧される動植物の保護や保全、外来生物や野生鳥獣被害への対策、漁獲量減少への対策、海洋プラスチック漂着への対策、環境保全活動の拡大、生物多様性に関する情報提供や啓発活動の推進など



### ■健康はままつ21(案) 健康増進課 期間:2024年~2035年(12年間)

- ・第3次浜松市健康増進計画、第2次浜松市歯科口腔保健推進計画、第4次浜松市食育推進計画から成る
- ・基本理念:「市民一人ひとりが健やかで、心豊かな自分らしい生活ができる健幸都市 浜松」
- ・目標:①健康寿命の延伸、②生活の質の向上、③子ども一人ひとりの健やかな発育・成長
- ・8つの分野で指標や目標値を設定し、施策や事業を推進していく



### ■第3次浜松市がん対策推進計画(案) 健康増進課 期間:2024年~2029年(6年間)

- ・基本理念:「がんを知り、がんと向き合い、がんになっても安心して暮らせる地域社会を目指して」
- ・がんの予防と早期発見対策の推進:喫煙率の減少、食生活や運動習慣、がん検診受診率向上
- ・がん医療の提供体制とサポート体制の強化=「集学的治療」8医療機関:浜松医科大学医学部附属病院、浜松労災病院、浜松医療センター、浜松赤十字病院、遠州病院、浜松聖隷病院、聖隷三方原病院、すずかけセントラル病院



### ■第四次浜松市自殺対策推進計画(案) 健康増進課 期間:2024年~2028年(5年間)

- ・基本理念:「孤立を防ぐ~ひとりじゃないよ、大丈夫。~」
- ・身近な人同士の支えあいと地域のセーフティネットを両輪とした孤立を防ぐための施策を展開し、一人ひとりが、かけがえのない個人として尊重される社会の実現を目指す
- ・施策:①相談支援体制の充実、②教育、啓発の促進、③人材養成、環境整備等の推進、④多職種連携の推進及び重層的支援体制整備事業によるネットワークの強化



### ■はままつ友愛の高齢者プラン(案) 高齢者福祉課 期間:2024年~2026年(3年間)

- ・浜松市高齢者保健福祉計画、浜松市介護保険事業計画から成る
- ・高齢者人口がピークとなる2040年を見据えた内容
- ・基本理念:「地域でともに支え合い 安心していきいきと暮らすことのできるまち 浜松」
- ・「生活支援」「住まい」「予防」「医療」「介護」が一体的に提供される『地域包括ケアシステム』をさらに推進できるように施策を展開する
- ・7つの重点施策:①地域共生社会の実現、②自立支援、介護予防・重度化防止、③介護サービス基盤の整備と質の向上、④在宅医療・介護連携の推進、⑤認知症施策の総合的推進、⑥人材の確保・定着・育成、⑦災害や感染症対策に係わる体制の整備



### ■第5次浜松市地域福祉計画(案) 福祉総務課 期間:2024年~2028年(5年間)

- ・第2期浜松市成年後見制度利用促進基本計画、浜松市重層的支援体制整備事業実施計画も含む
- ・浜松市社会福祉協議会と、車の両輪の関係
- ・3つの施策の柱:①支え合える人をつくる、②みんなでつながるネットワークをつくる、③誰も取り残さない支援体制をつくる



■第4次浜松市障がい者計画(案) 障害保健福祉課 期間:2024年~2029年(6年間)

- ・第7期浜松市障がい福祉実施計画と、第3期浜松市障がい児福祉実施計画を含む一期間は2024年から3年間
- ・基本理念:「誰もが住み慣れた地域で支え合い、希望を持って安心して暮らすことができるまち」
- ・4つの基本目標:①地域で安心して暮らすための地域社会への理解促進、②自己決定と自己選択の尊重、③地域生活を支えるためのサービス提供基盤の更なる充実、④ともに支え、ともに暮らす地域でつながる“輪”づくり
- ・5つの重点施策:①差別の解消・権利擁護の推進、②相談支援体制の整備ときめ細かな相談支援の充実、③地域生活への移行に向けた体制整備、④地域における防災対策の推進、⑤関係機関と連携したこどもと家庭に対する支援体制の強化



■浜松市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(案) カーボンニュートラル推進事業本部 期間:2024年~2030年(7年間) 計画の基準年度:2013年

- ・「浜松市域“RE100”」宣言(2020年3月):2050年までに二酸化炭素排出ゼロを目指す(市内の総消費電力に相当する電気を、市内の再生可能エネルギー施設で生み出すことが出来る状態にする)
- 市行政:温室効果ガスを排出する一事業者であることを認識して、率先的な立場で緩和策及び適応策に取り組む
- 事業者:自社が排出する温室効果ガスの見える化で現状を把握する。そして、徹底した省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの利用、社用車の電動化、電気設備への転換など、温室効果ガスの排出削減に積極的に取り組む。更に、自らの事業活動を円滑に実施するため、その事業活動の内容に即した気候変動適応に努める
- 市民:一人ひとりが、家庭で排出する温室効果ガスを見える化し現状を把握する。そして、省エネルギー活動や省エネルギー製品の購入・利用など、脱炭素型ライフスタイルへ転換する。さらに、太陽光発電設備をはじめとした再生可能エネルギーを可能な範囲で導入する。また、自家用車の購入の際は、電気自動車やハイブリッド車など二酸化炭素の排出がない(少ない)電動車を選択する。加えて、市や国、静岡県が提供する情報を活用し、地域における防災情報の確認、節水の実践、熱中症予防の徹底など、自らの気候変動適応行動を実施する。



ハローワーク浜松 職業別 常用職業 紹介状況

ハローワーク浜松の今年9月の月間有効求職者数は11,613人で、前月より0.4%増えたが、前年同月より4.1%減少した。

月間有効求人数は14,618人で、前月より3.5%増え、前年同月より2.2%増加した。

有効求人倍率は1.26で、「建築・土木・電気工事」や「警備・保安」、「福祉・介護」等は人手不足である。一方、「管理」や「事務」「法務・経営・文化芸術等」は、求職が求人を上回っている。

■表1 職業別 求職者数と求人数(9月の月間有効数)

職業	求職者数	求人数	倍率
管理	34	5	0.15
研究・技術	399	903	2.26
法務・経営・文化芸術等	250	58	0.23
医療・看護・保健	499	1,195	2.39
保育・教育	211	354	1.68
事務	2,570	1,448	0.56
販売・営業	557	1,527	2.74
福祉・介護	387	2,100	5.43
サービス	512	1,128	2.20
警備・保安	60	494	8.23
農林漁業	112	122	1.09
製造・修理・塗装・製図等	1,672	2,024	1.21
配送・輸送・機械運転	604	1,148	1.90
建築・土木・電気工事	106	882	8.32
運輸・清掃・包装・選別等	1,470	1,230	0.86
分類不能	2,170	0	0.00
合計	11,613	14,618	1.26

ハローワーク浜松の資料より作成

2023年11月25日執筆 バックナンバー →



\*\*\*\*\* お問い合わせ \*\*\*\*\*

西川公一郎 ((一財)日本総合研究所 客員研究員、防災士、元浜松市議会議員)

浜松市南区 在住 ko-ichi@24kawa.org